

2024年度 事業計画書

2024年1月1日 から2024年12月31日まで

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1. 事業実施の方針

今年開院9周年を迎えるラオ・フレンズ小児病院（LFHC）は、ここ数年ラオス人マネージャー、リーダーが増え、将来的な現地化に向けて着実に進んできている。年々来院患者数が増加傾向にあり、LFHCに患者さんが集中することを避けるべく、患者さんが自宅からより近い医療施設で適切な医療が受けられる態勢を整えるために、郡立病院のサポートを強化する。国のプログラムである急性栄養失調の統合管理（IMAM）を担うべく、引き続きチームで各担当機関と手を取り合いながら計画を進める。

入院患者さんに付き添う家族のための宿泊施設の建築がはじまり、2024年に9月頃を目途に完成予定。子どもたちが治療受けている間、家族が安心して過ごせる場所として利用予定。

新人医師、上級医師や看護師への継続的な医療教育を実施し、LFHCの医療の質をさらに向上させることを目指す。また、院内外及び国のトレーニングにもスタッフを派遣し、ラオス国内での医療の質向上に努める。

助成事業としてカンボジアの「アンコール小児病院（AHC）」への継続支援を行う。助成事業の進捗確認に加え、現地のニーズに沿ったものなのか否か、評価を実施する。

日本国内においては、団体の活動を「知る」機会として、現地報告会やトークイベント等の開催を増やし、ここ数年取り入れているスポーツ企画を充実させ「楽しく」支援／関わられる仕組みを構築する。また、これまで以上に企業との連携構築強化を目指し、新たな取り組みを開拓、構築する。寄付キャンペーンや助成金申請を行い、新規支援者獲得及び安定した運営資金確保に努める。WEBサイト、SNS運用、年次報告書、パンフレット等を活用し、団体広報の強化に繋げる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 159,861 】千円)

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額(千円)
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	300名	1)カンボジア人医療従事者のべ4,000名以上 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	48,150
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	200名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHCスタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族のべ200名以上	87,150
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1名	現地スタッフ約170名及び不特定多数の地域住民	722
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の医療従事者と患者	77
普及啓発事業	WEBサイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	23,762